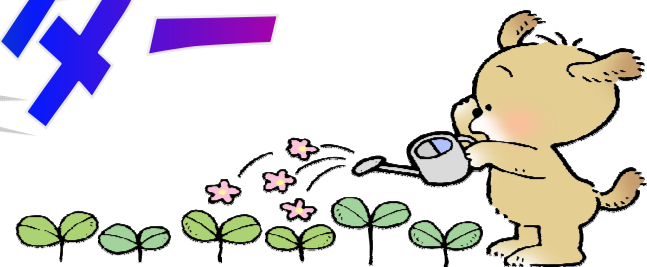


栃木市神田町6-6
下都賀教育事務所
ふれあい学習課
0282-23-3422
E-Mail
shimotuga-kyouiku@pref.tochigi.lg.jp

タウンサポーター



下都賀地区PTA指導者研修 I

7月30日(水)、下都賀地区PTA指導者研修 I を開催しました。

前半は、感性アナリストの黒川伊保子氏による講演を行いました。早寝・早起き等の基本的な生活習慣が非常に重要であることが科学的根拠に基づいて説明され、「生きる力にあふれた脳を育てる暮らし方・育て方」について多くの示唆を得ることができました。

後半は、下野市立石橋中学校PTAによる研究PTA実践発表を行いました。子どもを地域に返し、地域で子どもを育てる取組など、他の参考となる事例が紹介されました。

参加者の方からは、実践意欲や関心の高まりに関した感想を多くいただきました。研究主題「豊かな心を育てるPTA活動」の目的に合う、充実した研修となりました。



「県民カレッジ」防災学習講座

8月8日(金)、壬生町中央公民館にて、「地域防災力を高めるために」をテーマに県民カレッジ防災学習講座を開催しました。

NHK気象キャスターの平井信行氏に「異常気象(局地的な気象変動)と防災」と題して御講演いただきました。また、事例発表では、平成24年5月6日(日)に竜巻の被害を受けた真岡市立西田井小学校長の藤井努氏から話を伺いました。

参加者からは、「テレビの情報を自分の周りの事象と結びつけて考え、被害を最小にできるかを考えることが大切。」「自助の大切さを痛感した。」「貴重な研修会だった。」等の意見や感想がたくさん寄せられました。



小山市

私のまちのふれあい学習

野木町

放課後子ども教室豊北まなびの居場所

8月12日(火)、小山市内の黒本公民館を会場に、豊田北小放課後子ども教室「豊北まなびの居場所」の流しそうめん祭が開催されました。本教室は、地域の大人達が夏休み子ども達に地域交流の場を作ろうと、平成22年度から小規模に実施していたものですが、平成25年度からは栃木県の補助を受け、市内3番目の放課後子ども教室となりました。

当日は朝から小雨模様の一日で、時折強く降って開催が危ぶまれましたが、祈りが通じたのかお昼頃だけ雨が止みました。子ども達は勢い良く流れてくるそうめんやミニトマトに歓声をあげ、舌鼓を打ちました。

また、子どもたちはスイカ割りに挑戦したり、日頃練習しているお囃子を披露したりしました。教室関係者のみならず、通りがかりに飛び入り参加する地元の方やとちぎテレビの取材もあって、いつもは静かな公民館がたくさんの笑顔と歓声に包まれました。



「文化財案内ボランティアガイド養成講座」

名所や文化財などを説明しているボランティアの方が、世界遺産の富岡製糸場など各地域で活躍されています。町公民館では、町内にある国指定重要文化財の煉瓦窯を中心に様々な場所を案内できるボランティアの養成を目的とし、その「はじめの一步」を踏み出す機会を設けました。

この講座は、町生涯学習ボランティア連絡会にも加盟している「野木町煉瓦窯を愛する会」の皆さんが企画・運営し、町公民館との協働講座として開催しました。講座の内容は、煉瓦窯についての講話の他、渡良瀬遊水地とラムサールについての講話や実際活動されている近隣市町村のボランティアの方の講話を聞きました。また、町内にある国登録文化財の建物を見学しました。受講された方々の今後の活躍を期待しています。



栃木工業高等学校のふれあい学習

栃木工業高等学校は、「和顔愛語」の校訓のもと、心豊かな工業人の育成を目指して日々の教育活動を展開しています。その教育活動におけるふれあい学習の取組を紹介します。

まずは、「ジュニアキャリアアドバイザー事業」です。本年度は7月24日(木)~25日(金)の2日間、本校機械科実習棟において、小中学生26名が参加しました。本校の教職員と生徒が指導者となり、サッカーロボットを製作しました。生徒達は日頃学んだ技術をもとに、小中学生にハンダ付けの仕方など丁寧に教えることができました。

次に「栃木特別支援学校との交流会」です。昨年度は、中等部と高等部において各2回、レクリエーション活動や年賀はがきとカレンダーの作成などを行いました。このような取組を通して、栃木工業高等学校は地域社会に貢献できる心豊かな工業人を育成しております。

